

早良組 だより



女声合唱団

献華

ふくい舞さん

東北物産展

ご法話

正信偈

還暦祝いを受けて

仏壯の役員をさせて頂いている御縁で今回の早良組門信徒の集いに於いて還暦のお祝いをしていただくことが出来ました。思いもかけず、代表して挨拶する大役を引き受けましたが、当日、小心者の私は、緊張の余り心臓が口から飛び出るかと思いました。それでも、阿弥陀様が見守っていて下さる様で、何故か落ち着いてご挨拶をする事が出来ました。戴いた赤い式章も印象的で良い記念になると皆も話していました。挨拶の中でも申しました様に、今後、益々お念仏を喜ぶ人生を歩んで行けたら良いと思います。

西音寺 仏壯 牛尾正博

この度は還暦祝いのご縁をいただき有難うございました。はじめの経験でしたが何か新鮮な気持ちになりました。小山一行先生のお話で「私の命はいただきもの」「念仏のよるこび」「みんなの支えがあるから自分がある」と言われたように、私自身よくよすることがあるのですが、その度に周りの方に支えられている事に気付かされます。忙しい毎日を送っていますが、いつでも「南無阿弥陀仏」とお念仏申す日々を送っていきたくと思います。

真正寺 仏婦 楠原栄子

門信徒のつどい

2014年2月23日 筑紫女学園(警固)にて

この日は心配しておりました寒さも幾分か和らぎ、筑紫女学園をお借りして、第4回早良組門信徒のつどいを開催しました。790名ほどの参加者を迎え、短い準備期間の中、各種団体の多数のご協力のもと有意義な集いを開催することが出来ました。皆様方から頂いた支援金のご懇志は469,694円でした。ご協力いただいた企業様の協賛金も含め、750,000円を東北教区ボランティアセンターと筑紫女学園ボランティア活動費、被災寺院3ヶ寺へ支援金として届けさせていただきます。心より御礼申し上げます。



還暦祝い

キッズサンガのめざすもの



キッズサンガってどういう意味?!

キッズ(kids)は「子どもたち」、サンガ(sangha)は「仏教徒の集団」の意味があります。これをあわせた造語で「お寺に集う子どもたち」という意味で名付けました。



東京 ディズニーランドにて。

お寺を子どもたちの居場所に

「居場所」とは、私が全面的に肯定される「場」のことです。そのような「場」に出会うとき、人は本来の自分を輝かせ、のびのびと生きていくことができるのです。

現代において、社会で、学校で、安らげるはずの家庭にあっても、世間的価値観で自分という存在を測られ、努力した事さえも否定され、さらに厳しい言葉で追い詰められて居場所を失っている子どもたちもいるのではないのでしょうか。「いつでも、どこでも、あなたのこと見守っているよ。大

丈夫だから精一杯できることをしてごらん」

この、阿弥陀さまのおこころを居場所にしてもらい、いのちかがやく人生を送ってもらいたいものです。

お念仏の喜びを

次の世代に伝えたい!

現在お寺におまいりされる念仏者の多くは、子供のとき、お寺で遊び慣れ親しんだ経験があります。しかし、今、子どもたちにはお寺が遠い存在になっているのではないのでしょうか。ですから、この「キッズサンガ」を通して、お寺を身近に感じ、阿弥陀さまのご縁に

遇ってもらいたいのです。

そして、うれしい時、悲しい時、お寺をこころのよりどころとしてその人生を歩んでくれる事を願うのです。



2013年7/31～8/2にかけて、東京・築地本願寺に参拝しました。

ハワイにあこがれて

昨年2月に発足した真正寺ウクレレ教室。ハワイを夢見て、目下練習中です。全員初心者から始めましたが、一年経った今多くのレパートリーが弾けるようになりました。お寺の法要等で演奏会を行っています。



早良組ホームページが開設されました。

組内向けの情報や、寺院にご縁のない人々に向けての情報、また、ご法義の発信という役割も期待しています。皆様のご活用と、温かいご支援のほど、宜しくお願い申し上げます。



<http://sawaraso.com>

早良組

検索

取材募集のお知らせ

「早良組だより」をお読みいただきありがとうございます。早良組だよりの編集部では、本誌に掲載する記事を大募集しております。お寺での活動・取り組みを取材させていただきませんか。お問い合わせは下記まで。お電話お待ちしております。

栄福寺内 ☎851-9656



「お葬式」。皆様きつと「お葬式」のご縁にあったことがあるでしょう。親しき方の死に、ただただ悲しみに明け暮れた事。たくさんの方の親戚が集まり、あまりの賑やかさに悲しいのやら嬉しいのやら分からなくなつた事。私たちも必ず迎えなければならぬ人生最後の大切な儀礼、それが「お葬式」です。その「お葬式」が最近様変わりしているようです。なるべく簡単に、時にはお葬式自体を行わない事もあるようです。そこには

だくご縁なのです。悲しい別れを縁として出会うていかなければいけない世界があり、悲しい別れを縁としなければ出遇えない世界があるのです。このことを前提にこれからの質問を考えると、おのずと見えてくるものがあるのではないのでしょうか。

Q 亡くなつたらすぐにお経をあげてもらわなければいけないのでしょうか？

A 角住職 この質問は、亡くなつた方にお経をあげるといふ事が前提に立っていますね。すぐにお経をあげないと亡くなつた方がいいところに行けない、成仏しないのではないかと…。お経は死んだ人における呪文ではありません。本来お経とは何であるのか、誰のためにあるのかという事を、きちんと常日頃より聞いておく必要がありますね。

Q お線香や蠟燭を絶やさず、寝ずの番をするものだと聞いたのですが。

A 角住職 蠟燭は阿弥陀様の智慧の光、線香は阿弥陀様のお浄土の香りをあわらすものです。亡き人の冥土(暗闇)での目印や食事ではありません。お参りの都度、各自が蠟燭に明かりをつけ、焼香すればいいのです。

のか、救われていないのかは、救い主である阿弥陀様の領分です。阿弥陀様は「十方衆生」つまり生きとし生けるものを必ず救うとのお誓いですから、ただただ、「ありがとうございます」とお念仏させていただくだけでお念仏せずに終わる人生にはお念仏申す人生はありません。勿体ないことだと思います。

Q 最近お葬式をしない直葬を広告で見かけますが…

A 角住職 直葬では誰も仏法のご縁に遇う事が出来ませんし、先立たれた方の遺族が亡き人になり、生前ご縁のあつた方々にお礼を申す事も出来ません。そして先立たれた方に遺された者がお礼を申すことも出来ません。どうも直葬には色んな意味で「わずらわしい」という思いが働いているように思えます。人が生まれ、生きて死んでいくという事は大変なことです。わずらわしいという思いでかたづけられることはありません。

お葬式つてなんのため？

角住職 まず、浄土真宗の葬儀と一般の葬儀とは意味合が違います。まずそこを押さえて考えていく必要があります。

Q 「北枕」にしないとイケませんか？

A 角住職 これはお釈迦様が亡くなりになられたお姿を起源にしています。親鸞聖人もそれに習って「頭北面西右脇」というお姿でご往生なされました。ここで大事なことはお顔を西のお浄土に向けておられるとい

Q 「法名」がないのですが…

A 角住職 本来「法名」とは、仏様の教えをいただいたいく人生の名告りですから、生前にいただくのが本来であります。そういうご縁がなかった方には、葬儀をご縁としていただいききます。

Q 浄土真宗の教えをまつたく聞かずに亡くなつたのですが、お浄土に生まれたのですか？

A 角住職 お浄土に生まれたか、生まれなかったのか。救われたか、堂の中は、ただただ尊い時間が流れ、法要がお勤まりになることの有り難さを思わずにはおられません。法要のあとには、温かいおぜんざいをご接待していただき、お同行の皆様と交流をさせていただきました。昔の話を語り、報恩講のご縁に遇った事に涙を流しながら喜んで下さるお同行もおられ、心暖まるひととき



板屋の三光寺にて二十数年ぶりに報恩講法要が勤まりました



全国各地の山村地区では高齢化が進み、過疎化の波の中で真宗寺院経営は厳しさを増しています。ここ早良区板屋地区・三光寺も例外ではありません。ご住職がご高齢という事も重なり、残念ながら二十数年来ご法座が開かれていませんでした。なんとかが法座開設のお手伝いが出来ないものかと、この度早良組若院会の有志6名で「三光

寺報恩講法要」を企画させていただきました。お莊嚴の準備の日は大雪の為行く事が出来ませんでした。法要当日も雪が残っており、お参りの方が来られるか心配をしましたが、12名ものご門徒様がお参りに来て下さいました。ご門徒の皆様と共に、お正信偈を声高らかに唱和し、有田・西応寺ご住職のご法話をお聴聞させていただきました。本

を過ごさせていただきました。身に余るおもてなしと、尊いご縁に出遇わせていただいた事に心より感謝申し上げます。三光寺の有縁の皆様有り難うございました。合掌

